

～ ご案内 ～

「スポーツチャレンジ助成」「国際スポーツ奨学金」「スポーツチャレンジ NEXT」

平成27年度(第9期生)の募集について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS)では、スポーツを通じて世界に翔ばたく逞しい人材の育成を目的とした「スポーツチャレンジ助成」及び「国際スポーツ奨学金」募集を開始します。また、今回は新たに「スポーツチャレンジ NEXT」の平成27年度(第9期生)(本年9月1日～11月17日)を設定しました。

「スポーツチャレンジ助成」制度は、アスリートをはじめ、指導者、審判、ジャーナリストなど、スポーツに関連する幅広い分野にて、自己の夢実現に向けてキャリアアップやスキルアップをめざした各種体験にチャレンジする人々を支援する「体験助成」と、スポーツ医・科学、スポーツ文化など、スポーツにかかわる学問・研究によりスポーツの普及・振興や競技水準の向上にチャレンジする人々を支援する「研究助成」の2部門からなり、それぞれ応募者の中から厳正な審査により各10件程度の個人・グループを選出し、助成金を交付する事業です。

また「国際スポーツ奨学金」は、国際的な視野を持つ指導者や研究者の育成と、スポーツを通じた国際友好を目的とし、海外への留学を予定する日本人大学生及び大学院生を対象とした「海外留学生奨学金」と、日本国内の大学及び大学院で学ぶ外国人を対象とした「外国人留学生奨学金」の2部門からなり、それぞれ応募者の中から厳正な審査により若干名を選出し、奨学金を給与する事業です。

なお平成27年度は、次世代を担うアスリート支援を目的に中学生以上を対象とし、高い志、明確な目的・目標を持ったチャレンジ「スポーツチャレンジ NEXT」を単年度で募集します。

同プログラムは、平成25年度に実施した第6回ヤマハ発動機スポーツ振興財団スポーツチャレンジ賞において、奨励賞を受賞した「東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会戦略広報部」が賞金を辞退されことを受け、その意向により、次世代を担うアスリートの支援に活用するものです。

この他、平成25年度より「スポーツチャレンジ助成」のプログラムを拡充し、従来の助成制度(基本助成)に加えて2段階の継続助成(継続助成①、継続助成②)を設けることで、目標達成まであと一步に迫った助成対象者へのサポートを始めています。この継続助成は体験・研究の2部門合わせて8件程度を予定しています。

詳しくは当財団ウェブサイトの募集要項をご覧のうえ、ぜひ貴団体の関係者にご紹介・ご案内いただけますようお願いいたします。多くのチャレンジャーにとって、当助成制度が自己を磨き上げ、また世界に翔ばたくための架け橋となれば幸いです。

■ この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください ■

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS) 事務局: 担当・石塚

〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500番地 Tel. 0538-32-9827 Fax. 0538-32-1112 <http://www.ymfs.jp>

2014年(平成26年)8月29日

スポーツチャレンジ助成事業
平成27年度(第9期生)助成対象者募集について
— 新規プログラム「スポーツチャレンジNEXT」を設定 —

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(Yamaha Motor Foundation for Sports)では、スポーツを通じて世界にはばたく逞しい人材の育成を目的に、平成27年度(第9期生)「スポーツチャレンジ助成(体験/研究)」、「国際スポーツ奨学金(海外留学生/外国人留学生)」、そして本年度のみ設定した次世代を担うアスリート支援を目的とした「スポーツチャレンジNEXT(体験)」の募集を、2014年9月1日～11月17日まで実施します。

今回設定した「スポーツチャレンジNEXT」は、次世代を担うアスリート支援を目的に中学生以上の男女及び、これによって構成されるグループ・団体を対象とし、高い志、明確な目的・目標を持ったチャレンジを募集します。

同プログラムは、平成25年度に実施した第6回ヤマハ発動機スポーツ振興財団スポーツチャレンジ賞において、奨励賞を受賞した「東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会戦略広報部」が賞金を辞退されことを受け、その意向により、次世代を担うアスリートの支援に活用するものです。

なお、昨年度の助成(平成26年度/第8期生)は、スポーツチャレンジ助成が28件、2,632万円、国際スポーツ奨学金が4件、480万円(1年分)で、合計3,112万円の実績でした。

■助成プログラム

プログラムの種類	スポーツチャレンジ助成	国際スポーツ奨学金	スポーツチャレンジNEXT
	体験助成 研究助成	海外留学生 外国人留学生	体験助成
助成・給与期間	1年間(上限100万円)	最長2年間(月10万円)	1年間(上限50万円)
件数(目安)	基本助成(体験/研究):各10件 継続助成①(体験/研究):計5件 継続助成②(体験/研究):計3件	各若干名	4～5件程度

■助成プログラムの特徴:プロセス重視の独自プログラムによるプログレス支援

■募集期間:2014年(平成26年)9月1日(月)～2014年(平成26年)11月17日(月)

■審査・発表:書類選考による1次審査及び面接による2次審査を経て2015年(平成27年)2月に決定

■ この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください ■

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS) 事務局: 担当・石塚

〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500番地 Tel: 0538-32-9827 Fax: 0538-32-1112 <http://www.ymfs.jp>

■助成プログラム詳細

[スポーツチャレンジ助成]

基本助成(体験):アスリート、指導者、審判、スポーツジャーナリストなど、スポーツに関連する幅広い分野から、高い志、明確な目的・目標、そして具体的なプロセスを持った、チャレンジスピリット、フロンティアスピリットあふれる体験活動に対して助成金を交付(10件程度/1件につき上限100万円)。

基本助成(研究):スポーツ医・科学、スポーツ文化など、スポーツに関連する幅広い分野から、スポーツの普及・振興や競技水準の向上につながる学術的価値の高い学問・研究活動に対して助成金を交付(10件程度/1件につき上限100万円)。

継続助成(体験/研究):基本助成の修了後2年以内の方を対象とした継続助成①(5件程度・1件につき上限100万円)と、継続助成①の修了後2年以内の方を対象とした継続助成②(3件程度/1件につき上限100万円)に対して助成金を交付。

[国際スポーツ奨学金]

スポーツの普及・振興や競技水準の向上にかかわる学問・研究を目的に、海外へ留学する日本人大学生及び大学院生を対象とした「海外留学生奨学金」、日本国内の大学及び大学院で学ぶ外国人を対象とした「外国人奨学金」それぞれに奨学金を給与(各若干名/月額10万円)。

[スポーツチャレンジNEXT]

次世代を担うアスリート支援を目的に、高い志、明確な目的・目標を持ったチャレンジに対して助成金を交付。応募申請には日本オリンピック委員会(JOC)、日本パラリンピック委員会(JPC)に加盟する競技団体の強化担当者による推薦が必要(4~5件程度/1件につき上限50万円)。

■(ご参考)ヤマハ発動機スポーツ振興財団スポーツチャレンジ賞について

ヤマハ発動機スポーツ振興財団が、スポーツ振興において多大なる実績を残すとともに、その功績によって社会の活性化に貢献した人物・団体を表彰する制度です。スポーツに関する幅広い分野において、高く評価されるに相応しい功績をあげ、かつこれまで注目を浴びることの少なかった「縁の下の力持ち」的な人物・団体にスポットをあてています。

第6回では、「功労賞」としてスポーツ用義足の第一人者である臼井二三男氏、「奨励賞」として戦略広報という立場から東京2020招致を支えたプロフェッショナルである「東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会戦略広報部」を表彰しました。

[ご参考] 公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団について

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS)は、モータースポーツやマリンスポーツ、またサッカーやラグビーにおいて豊富な普及・振興活動の実績を持つヤマハ発動機株式会社の創立 50 周年事業の一つとして、平成 18 年(2006 年)11 月に設立しました。YMFS は、豊かな人間性の涵養に効果的なスポーツの振興、およびスポーツ文化の向上による国家社会への貢献を事業目的として活動しています。

■YMFS の主な特徴

- スポーツを通じて、夢の実現にチャレンジする人を応援(挑戦する姿勢が共感・賞賛される社会づくり)
- 「しっこさ(質濃さ)」という独自の価値観を大切にした事業活動(プロセス重視の人づくり)

■YMFS の主な事業

事業	概要	主な特徴
スポーツチャレンジ助成事業 ▶ 助成制度 ▶ 奨学金制度 ▶ 各種サポートプログラム	世界に飛ばたく逞しい人材の育成をめざし、スポーツを通して夢・目標の実現に向かってチャレンジする人をサポートする。	助成金の交付に加え、助成対象者の成長を促すプロセス重視のプログレス支援を実施。 ・PDCAによる自己管理 ・異分野交流、等
スポーツ振興支援事業 ▶ ヨットスクール・競技会 ▶ スポーツ教材提供 ▶ 自然・水辺体験促進	心身ともに健全な子どもたちの育成をめざし、スポーツをより身近に楽しむことや、自然・水辺体験を促進する。	体験を重視した子どもたちの健やかな心技体づくり。 ・スポーツ体験の促進 ・自然・水辺体験の促進、等
スポーツ文化・啓発事業 ▶ 表彰制度 ▶ 調査研究 ▶ 情報発信	スポーツチャレンジ賞(表彰)や調査研究活動をはじめ、各事業の実績や知見、情報を広く社会に発信する。	チャレンジすることの素晴らしさを社会に訴求。 ・「緑の下の力持ち」を表彰 ・現場視点の調査研究、等

「プロセス重視」の「独自プログラム」による「プログレス支援」スポーツチャレンジ助成事業



スポーツチャレンジ助成事業は、スポーツを通じて自己の夢・目標にチャレンジするアスリートや指導者、研究者等の活動を支援するヤマハ発動機スポーツ振興財団の中核事業です。本助成制度では、助成金の交付やチャレンジ成果だけでなく、高いチャレンジ目標の設定やそこに至るプロセスも大切にしています。そのための PDCA プログラムを充実させ、さまざまな経験や交流によって成長のきっかけづくりを行う「プログレス支援」により、競技や研究の成果向上を支援するとともに、社会にとって有用な逞しい人材の育成をめざしています。

- ・スポーツチャレンジ体験助成
- ・スポーツチャレンジ研究助成
- ・スポーツチャレンジ NEXT
- ・海外留学生奨学金
- ・外国人留学生奨学金

独自のサポートプログラム

目標設定/活動計画、四半期ごとの報告、中間報告会、成果報告会、YMFS スポーツ・チャレンジャーズ・ミーティング、スポーツ討論会、特別講演会、等

スポーツ、挑戦、やりぬく。

ヤマハ発動機スポーツ振興財団は、
世界の舞台へ大きく翔ばたこうとしている
あなたの情熱的なチャレンジを応援します。
自己の夢の実現にチャレンジする個人や
共通の目的・目標に挑戦する
グループ・団体のみなさん、
「スポーツチャレンジ助成」を通じて、
夢や目標の実現に集中的に取り組む、
充実した1年を過ごしてみませんか。

YMFSスポーツチャレンジ助成事業

体験助成・研究助成・国際スポーツ奨学金・スポーツチャレンジNEXT

平成27年度[第9期生] 助成対象者募集

【応募締切】平成26年11月17日 月

【電子申請】日本時間24:00締切
【書類提出】当日消印有効

平成27年度〈第9期生〉 助成対象者募集

プロセス重視の独自プログラムによるプログレス支援

YMFSでは、助成金やチャレンジ成果だけでなく、高いチャレンジ目標の設定やそこに至る「プロセス」も大切にしています。そのためのPDCAプログラムを充実させ、さまざまな経験や交流による成長や向上のきっかけづくりも行っています。

[応募締切]

平成26年
11月17日

[電子申請] 日本時間24:00締切
[書類提出] 当日消印有効

スポーツチャレンジ助成

基本助成

募集要項

体験助成

アスリート、指導者、審判、スポーツジャーナリストなど、スポーツに関連する幅広い分野から、高い志、明確な目的・目標、そして具体的なプロセスを持った、チャレンジスピリット、フロンティアスピリットあふれる体験を募集しています。

応募資格(以下に該当する方)

- 満16歳以上(応募時)の男女および、これによって構成されるグループ・団体
- 体験活動が海外留学を伴う場合、留学先の学校や団体、機関の受け入れが確定している方(入学許可証等の証明書を提出のこと)

※プロ契約選手(競技を通して金銭を授受している方)は、対象外とします。

研究助成

スポーツ医・科学、スポーツ文化など、スポーツに関連する幅広い分野から、スポーツの普及・振興や競技水準向上につながる、学術的価値の高い学問・研究を募集しています。

応募資格(以下に該当する方)

- 大学院博士課程(博士後期課程)に在籍する方
- 日本の研究機関等で研究職として活動に従事する方

※ただし、教授職または教授職相当の職位の方は除きます。
※グループ・団体での応募の場合、代表の方が条件に該当すること。
※研究助成金における大学等の管理費(オーバーヘッド)への充当は認めておりません。

助成概要

助成件数	各10件程度の個人またはグループ・団体	助成金額	1件に対し 上限100万円	助成期間	1年間 (平成27年4月～平成28年3月)
------	---------------------	------	------------------	------	--------------------------

注意事項 ●過去に基本助成を受けた方は対象外とします。ただし、競技の変更、指導者などへの転向、研究テーマの変更の場合は、応募可能とします。●他の団体等から助成または補助金を受ける方は、対象外とします。

参考 継続助成

基本助成を修了したチャレンジャーを対象にした、最長2年間まで助成を継続する制度があります。

継続助成①

応募資格	基本助成修了後、2年以内の方		
助成概要	助成件数	体験助成、研究助成合わせて、5件程度	
	助成金額	上限100万円	助成期間 1年間

継続助成②

応募資格	継続助成①修了後、2年以内の方		
助成概要	助成件数	体験助成、研究助成合わせて、3件程度	
	助成金額	上限100万円	助成期間 1年間

※助成対象者は1年ごとに応募・審査を経て決定します。
※助成件数は、応募状況や応募内容により変動します。
※活動テーマは継続とします。

国際スポーツ奨学金

募集要項

海外留学生奨学金

スポーツの普及・振興ならびに競技水準の向上にかかわる学問・研究を目的に、海外に渡航・留学予定の日本人大学生・大学院生に奨学金を給与しています。

応募資格(以下に該当する方)

- 日本国籍を有する方
- 平成27年4月以降(1年以内)に海外の大学・大学院に入学を予定している方(入学許可証等の証明書を提出のこと)
- 平成27年4月1日現在、満30歳未満の方で、原則として日本国内の大学・大学院に在学している方

外国人留学生奨学金

スポーツの普及・振興ならびに競技水準の向上にかかわる学問・研究を目的に、日本に留学している外国人大学生・大学院生(または日本への留学を予定している外国人)の方に奨学金を給与しています。

応募資格(以下に該当する方)

- 平成27年4月現在、日本の大学・大学院に在学している方、または平成27年4月以降(1年以内)に日本の大学・大学院に入学を予定している方(入学許可証等の証明書を提出のこと)
- 大学・大学院でスポーツの普及・振興ならびに競技水準向上にかかわる学問・研究をしている方

助成概要

給与件数	若干名
給与金額	大学生・大学院生ともに 月額10万円
給与期間	最長2年間まで

注意事項
●他の奨学金等との重複受給はできません。
●申請や報告等に使用する言語は日本語であることとします。

スポーツチャレンジNEXT

募集要項

次世代を担うアスリート支援を目的に、高い志、明確な目的・目標を持ったチャレンジを募集しています。

応募資格(以下に該当する方)

- 中学生以上(応募時)の男女および、これによって構成されるグループ・団体
- チャレンジ活動が海外留学を伴う場合、留学先の学校や団体、機関の受け入れが確定している方(入学許可証等の証明書を提出のこと)

※公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)または日本パラリンピック委員会(JPC)の加盟競技団体の強化担当者による推薦が必要です。
※プロ契約選手(競技を通して金銭を授受している方)は、対象外とします。●他の団体等から助成または補助金を受ける方は、対象外とします。

スポーツチャレンジNEXTは、平成26年度に「東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会 戦略広報部」が受賞した、第6回ヤマハ発動機スポーツ振興財団スポーツチャレンジ賞 奨励賞の賞金辞退を受け、その意向により、次世代を担うアスリート支援への活用として設定しました。

助成概要

助成件数	4～5件程度の個人またはグループ・団体
助成金額	1件に対し 上限50万円
助成期間	1年間 (平成27年4月～平成28年3月)

申請から選考までの流れ

申請には、入力による「電子申請」と、印刷して提出していただく「書類申請」があります。

申請 1	申請 2	申請 3
WEBサイトで チャレンジャー 基本登録	電子申請 平成26年11月17日(月) 日本時間24:00まで	書類提出 平成26年11月17日(月) 当日消印有効
選考 1	選考 2	選考 3
1次審査(書類選考) 平成26年 12月中旬予定	2次審査(面接選考) 平成27年 1月下旬予定	決定 平成27年 2月予定

●電子申請の締切前は混雑が予想されますので、申請内容の送信はお早めにお願ひします。●本募集期間中に応募できる件数は、1人/グループ・団体あたり1件のみとします。●グループ・団体は、代表者が申請を行ってください。

